



第10回 ソリューションランド 盛岡大会

テーマ 注文の多いソリューション



会場 マリオス18階会議室 盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号

1日目「学びの場」 9月18日 日曜日 9:30～17:50 180+181 会議室

9:00	受 付	
9:30～ 9:50	オリエンテリング&ウエルカムスピーチ	岩手チーム
10:00～11:30	「解決のための面接技法 第4版について」 桐田弘江さん(カウンセリング SoFT 松山)	
11:40～12:40	中学校での「プラスのめがねプロジェクト」の取り組み -学校風土として、ソリューションを根付かせる- 中村亜紀子さん(大分県スクールカウンセラー 臨床心理士)	
12:40～13:40	昼 食	
13:40～15:00	「仮設的質問の可能性」	遠山 宜哉さん(岩手県立大学 社会福祉学部)
15:10～16:10	「誰もが通いたくなる学校/教室づくりに見られる“解決志向”の要因 -全国の優れた実践の語りから-」 黒沢幸子さん(目白大学)	
16:20～17:50	「佐賀星生学園での取り組みについて」	加藤 雅世子さん(佐賀星生学園校長)
18:00～20:00	楽しい懇親会!	会場 20階カフェテラス スカイメトロ

2日目「語りの場」 9月19日 月曜日 9:30～15:30

9:00	受 付		
9:30～11:00 セッション1	A1<学校・教育>188 「プロジェクトS」～紡ぐ・編む・ 繕う・繋げる・解く～ 発達障害のある児童の歩み 大西 恵子さん(四国 SFA 研究会)	B1<>187 「ソリューションと “承認戦略”」 柴田 健さん (秋田大学教授)	C1< >180 「最期まで手ばなしたくないモノ」 花屋 道子さん (東北文教大学 人間科学部) 西沢 望さん (藤代健生病院リハビリ課)
11:00～11:10	休 憩		
11:10～12:40 セッション2	A2<学校・教育>188 「アドラー風味のアンガーコントロール心理教育授業の紹介」 佐々木 誠さん (岩手大学)	B2<医療>187 「『死のテーマ』を語る方の 『解決』とは・・・」 自殺率の高い秋田県の 医療における心理臨床から 松田 陽一さん (秋田県横手市横手興生病院)	C2<福祉>180 「児童福祉施設での実践を ソリューションの視点から考察する」 大沢 脩太さん (大船渡市の児童養護 施設 大洋学園)
12:40～13:40	昼 食		
全体セッション 13:40～15:30	全体シェアリングとフィナーレ 188会議室 長田清さん(長田クリニック) 次回大会のご案内		

<参加費> 1日 5,000円 2日間 10,000円 懇親会 4,000円

※社会人でない学生は 1日 1,000円 2日間 2,000円 懇親会 3,000円

参加お申し込みは、ソリューションランドのHP でお願ひ致します。http://www.solutionland.com

各セッションの概要

1日目「学びの場」 9月18日 日曜日 9:30～17:50

「中学校での“プラスのめがねプロジェクト”の取り組みについて」

ー学校風土として、ソリューションを根付かせるー

中村 亜紀子さん(臨床心理士 スクールカウンセラー)

<発表概要>

「プラスのめがねのお話を聞いた学年と、そうでない学年では、全然違うんですよ、またあのお話をしに来てくれませんか？」

——以前担当していた学校の先生から、連絡を頂いた時の言葉です。

SC として心理臨床活動を始めて約10年、小規模～大規模校を担当し、生徒さんにソリューションの視点でお話し、元気に帰っていく姿を見ながら、いつか解決志向のさまざまな取り組みを、部活動のようにしたいと考えるようになりました。

産業・組織領域でも活動している心理士ならではの視点を交えつつ、学校全体に目を向けながら、先生方と協力しながら、時には生徒会を巻き込みながら(!)、解決志向を根付かせるための現在進行形の2校のケースについて、ご報告させていただきます。

仮設的質問の可能性

遠山 宜哉さん(岩手県立大学 社会福祉学部)

<発表概要>

質問を援助的に機能させるための工夫にはいろいろありますが、何か「仮設的」な状況を設定して、「そうだったら」「そうだとして」考えてもらうという質問の可能性について、皆さんと考えようと思います。

ミラクル・クエスチョンは仮設的質問の代表的なものです。ある状況を仮に設定することによって、現実にはあり得ないことを考えることができるようになり、そのことが因果に縛られがちな私たちの思考を自由にしてくれるのが最大のメリットと考えられます。

どんなことを一緒に考えたいのかを決め、どのような状況の設定が考えられるか、その状況とどのように関わる設定にするかなどを考えて、文章を組み立ててみたいと思います。

参加者の中にお得意の仮設質問があったら教えてください。できれば、一つくらいは何か設定して実験的にやってみましょう。

「誰もが通いたくなる学校/教室づくりに見られる“解決志向”の要因

—全国の優れた実践の語りから—

黒沢幸子さん(目白大学/KIDS カウンセリング・システム)

<発表概要>

学校や教室が、誰もが通いたくなるような、安全で安心して過ごせる生き生きとした場になることを、皆が望んでいます。そのような学校/教室づくりについて、困難があったにもかかわらず、成功している先生方は、どのような取り組みをされてきたのでしょうか。子どもや学校の持つ力をどのように活かされたのでしょうか。

このような成功した学校/教室づくりに成果を得ている全国の先生方、30人余りに幅広くヒアリングへのご協力をいただきました。先生方の語りの質的検討から、より良い学校/教室づくりの成功要因を抽出するとともに、先生方の語りの集積をご紹介します。そこから“解決志向”の要因と実践のヒントを豊かに得ていただけたと思います。

(※本発表は、科研費 JSPS26285157 の助成研究の知見を反映しています)

「佐賀星生学園での取り組みについて」

加藤 雅世子さん(佐賀星生学園校長)

<発表概要>

「本校に入学してくる生徒たちは、中学校時不登校、発達障害を抱えている生徒たちです。生徒たちの多くは、劣等感や大人に対する不信感でいっぱいです。

そのような生徒たちのために、自分を認め他者も認め、笑顔が絶えない、明るい学校を作りたいと思い、学校全体で解決志向の学校作りを行ってきました。

本校で実践しているさまざまな取組を通して表現される生徒たちの変化や学校の雰囲気をご紹介します。よろしくお願いいたします。」

2日目「語りの場」 9月19日 月曜日 9:30～15:30

「プロジェクトS」～紡ぐ・編む・繕う・繋げる・解く～発達障害のある児童の歩み

大西恵子さん(四国 SFA 研究会)

<発表概要>

2008年以來小学校で実践している WOWW について、毎回発表させていただいておりました。

今回の発表は、WOWW 実践前の 2005 年～2006 年に支援員として勤務していた特別支援クラスに在籍の S と出会い、関わった 2 年間の取り組みをお伝えします。当時の記録ノート 2 冊分から記憶を呼びもどしつつ、今 22 歳になった S にたどり着くことができました。机の奥に眠っていた 2 冊のノートは、S の力で目の見ることになったんだらうと思います。ノートに挟まれて、“プロジェクト S” と名付けた S の成長の報告書も出てきました。“けーこ先生”らしくすべて手書きです。

WOWW への足掛かりとなったプロジェクト S についてお伝えします。

「ソリューションと“承認戦略”」

柴田 健さん(秋田大学教授)

〈発表概要〉

面接がなかなかソリューションにならない！なかなかブリーフに終わらない！
そんなとき我々は一体何をすれば良いのでしょうか。
このときにやれそうなことと、考えると良さそうなことを、弁証法的行動療法(DBT)や、その中にある承認戦略という視点から考えてみたいと思います。
これは、クライアントを承認するだけでなくセラピスト自身を「承認」することになるかもしれません。一緒に体験しながら考えてみませんか？

「最期まで手ばなしたくないモノ」

花屋 道子さん(東北文教大学 人間科学部)

西沢 望さん(藤代健生病院リハビリ課)

〈発表概要〉

NHK・E テレで昨年、「私のリュックひとつ分」という番組が放映されました。そのコンセプトは、住み慣れた家を離れて二度と戻れない旅に出るとして、そのとき持っていけるものがリュックひとつ分だとしたら何を入れるか、というものです。毎回、各界の著名人が実際にリュックひとつ分の荷物を詰め、それらのものと自分とのつながりについて語るといった内容で構成されていました。

今回紹介するのは、それよりもだいぶ以前に大学生向けのエンカウンター課題として試作・試演したのですが、課題を通して自分にとって重要なものや人の存在を見つめ直すという点において、両者は共通しています。この際、日常を少し脇において、「最期まで手ばなしたくないモノ」についてじっくり考え、話し、訊ね、聴く時間にできればと考えております。

「アドラー風味のアンガーコントロール心理教育授業の紹介」

佐々木 誠さん(岩手大学)

<発表概要>

一般的にアンガーコントロールの心理教育授業は、出来事—評価—感情—行動の流れを追って、評価の部分を「心のつぶやき」といった子ども達がイメージしやすいもので表現し、つぶやきは1つとは限らないということ、学級の他の子の意見を活かしながら気づかせ、よりよい対応を身につけるという構成が多いように思います。

今回は、ここにアドラー心理学の発想を取り入れてみました。アドラーの高弟ドライカースは、「感情はガソリンのようなもの」と言っています。そこで心のつぶやきは1つではないという気づきのあとで、ドライカースの言うガソリンとしての感情の役割や、アドラー心理学の大前提である目的論を展開します。もし、感情に気づき、さらにその感情で動機づけられた目的を考えられれば、もはや感情をガソリンにする必要もなくなります。おそらく、この状態がアドラーの言う「自分のスープにつばを吐く」という事なのだと思います。そして目的を本位に考えて行動するために、いかに感情の波にのまれずにいられるかを最後に子供たちと考えます。

セッションでは、授業で出された中学生のみなさんの「感情の波を乗り越える技」もご紹介します。とてもユニークで、演者の予想をはるかに超えているものばかりです。ご参加いただければみなさんも魅了されること間違いなしです。また、子どもたちをいかに引きつけ、腑に落とせるかという演者の工夫を惜しみなくご紹介しますので、これから学校で心理教育授業を考えているという方々にもお役に立てると思います。奮ってご参加ください。

「『死のテーマ』を語る方の『解決』とは・・・」

自殺率の高い秋田県の医療における心理臨床から

松田 陽一さん(秋田県横手市横手興生病院)

<発表概要>

自殺率の高い秋田県の病院臨床において、「死のテーマ」を語る患者さまが少なからずいらっしゃいます。

地域の現状を踏まえ、臨床心理士が心理療法の中で「死のテーマ」に対し、どのように向き合っていくといいのか、日々試行錯誤しているところです。

個人的には「死のテーマ」の『解決』を考えると、基本姿勢としては「死のテーマ」は取り除こうとしないこと、単に「死にたい」から「生きたい」に持っていけばいいというものではないこと、「死のテーマ」を語ることで、今ここでの患者さまはどう在りたいかを話題にすること、気持ちは『解決』するのではなく、感じるものという視点を持ちつつ関わっているところです。『解決』の糸口が見つかるときには、かい離していた身体感覚が賦活されているように感じられることもあります。

今回は、事例提供をさせていただき、自分の日ごろの関わり方の振り返りやフロアの皆様のご指摘を受けながら、新たな視点を得たいと思っております。

「児童福祉施設での実践をソリューションの視点から考察する」

大沢 脩太さん（大船渡市の児童養護施設 大洋学園）

<発表概要>

児童福祉の領域においてもさらに異質の施設臨床。そこでは、生活場面面接、ライフストーリーワーク、トラウマ・フォーカスト・セラピーなどといった他の領域にはあまり見かけない支援や実践が行われています。一見すると過去志向を重視しがちな施設臨床ですが、それらの実践にも様々なところにソリューションの視点を取り入れられていたりします。当日は、私たち施設心理士が普段から実践している内容について紹介し、それらをソリューションの視点から考察したいと考えています。

また、普段から目まぐるしい業務に追われる施設臨床では、自分たちの実践がどこに向かっているのか、何のためにやっているのか見えなくなり、混乱することもよくあります。そのため、当日は施設心理士の実践がどのような形で役立っているかについてソリューションの視点を通して改めて実感し直し、皆さんでエンパワーメントし合えればとも考えています。

児童福祉施設にいる子どもたちは、様々な機関（児童相談所、医療機関、司法機関、学校など）との協働によって成り立っているところもあります。そのため当日は、児童福祉施設で行われている実践内容を知っていただくことで、今後もしかかわることがあれば何らかの形で役に立つことがあるかもしれませんので、様々な領域の方々のご参加をお待ちしています。

マリオス
MALIOS

MART
ART
LIFE
INTELLIGENCE
OFFICE
SIGHT-SEEING

〒020-0045

盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号 18階 会議室

◎盛岡I.C.より約10分 ◎盛岡南I.C.より約9分

◎「盛岡駅西口」下車 徒歩1分 ◎花巻空港より特急バスで約40分

<http://www.malios.co.jp/>

お問い合わせ先

(株)盛岡地域交流センター
(8:30~17:15)
Tel.019-621-5000
Fax.019-621-5001



駐車場のご利用案内 マリオス立体駐車場及び盛岡駅西口地区駐車場(屋外)



前夜祭のご案内

ソリューションランド恒例の“学芸会”

今年はランド開催の前日9月17日 土曜日 夜7時半から前夜祭を開催します！

会場「青胡椒」

会費 4,500円

定員 50名

盛岡市大通 1-9-5 サンシャインビル 3F 019-652-3222



今年のランド初日の夜の懇親会はまさに懇親を主眼としていつもの“学芸会”はありませんのでご注意ください。

でもあれだけは・・・？

日頃のストレスを発散させたい方！

コスプレにはまっている方！

美声を披露したい方！

人間観察を趣味としている方！

楽器の演奏を披露したい方！

そんな貴方/貴女のパラダイスです！

